

第3章 研究報告

1 研究体系（平成23年度）

区分	No.	研究課題	研究年度	県施策項目	共同研究機関	担当部
健康危機管理時の対応力向上に資する調査研究	1	吸着材を利用したノロウイルス低減化に関する研究	22-23	食の安全・安心の確保		保健科学部
	2	腸管出血性大腸菌による健康被害発生時における疫学的解析手法の検討に関する研究	19-23			
	3	病原微生物の分子疫学指標のデータベース化に関する研究	22-23			
	4	食品中の有害化学物質等に関する研究	21-23			衛生科学部
行政課題・地域課題解決に向けた調査研究	5	ウイルス媒介性節足動物の生息に関する研究	22-24	地球温暖化対策の推進	国立感染症研究所（厚生労働省科学研究補助金 研究協力）	地球科学部
	6	磁性炭化物の開発および環境浄化技術に関する研究	22-24	循環型地域社会の形成		衛生科学部
	7	大気中有害物質等の環境分布・環境リスクの可視化と環境情報発信システムの構築に関する調査研究	21-23	多様で豊かな環境の保全	岩手大学	地球科学部
	8	千厩川環境調査	23-24		一関市、一関保健所	環境科学部 検査部
	9	酸性雨による環境影響の総合的評価（広域連携事業）	23-24			地球科学部
高度な分析機器を用いた新たな検査・分析法の開発	10	食品中に残留する動物用医薬品一斉分析に関する研究	22-24	食の安全・安心の確保		衛生科学部
	11	有機フッ素系化合物に関する研究	23-25	多様で豊かな環境の保全	大連理工大学・中国医科大学(中国)、釜慶大学(韓国)、USEPA（アメリカ）、国立環境研究所、京都大学、岩手大学など	環境科学部
	12	PPCPs (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質実態調査	23-24			
本県の豊かな自然環境の保全に資する調査研究	13	希少植物の保護と増殖に関する研究	19-24	多様で豊かな環境の保全		地球科学部
	14	イヌワシ個体群の生態的特性および遺伝的構造に関する研究	23-27			
	15	遺伝子解析法を用いたツキノワグマのモニタリング調査手法の開発	19-23			
	16	里山における半自然草原の生物多様性保全に関する研究	23-27			
計	16	テーマ				